総合戦略政策評価シート(平成28年度実績)

資料 2

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
基本的方向	大きな雇用を産む産業や、著名な観光地を持たないこの町の最大の財産は人であり、人と人との繋がりであることを再確認し、そこから生まれる、「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域づくりを、二宮町総合戦略の第1の基本目標とします。 二宮町人口ビジョンを実現するためには、出生率の向上と子育て家庭の定住促進が不可欠となりますが、安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい地域とは、子育てがしやすい地域であるとともに、誰もが健康でいきいきと生活することができ、安心して住み続けられる地域であることも必要になります。 この二宮町総合戦略を機に、改めて地域コミュニティを見直し、子どもも大人も、誰もがいつでも気軽に地域との繋がりを持てるような取り組みや、多世代の交流を促進するとともに、町民生活を支える公共施設のマネジメント、防災・防犯のまちづくりを推進します。

指標名	実績の推移				目標値	備考	
14 保力	計画策定時	H28	H29	H30	H31	日信旭	1 開
住み続けたいと思う町民の割合	76. 5%	80. 5%				79. 5%	

	\	1:国が示す政策 5 原則(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
		2:基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、 一部、施策を改善する必要がある
総合		3:基本目標の達成状況を検証する 数値目標を見直す必要がある
2評価	説明	基本目標「安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる」を達成するために設定した4つの施策は、概ね順調に進行している。「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域を実現するためには、町民の地域活動への参加やコミュニティづくりへの意識を高め、多様な主体が連携、協力することにより、地域の繋がりや支え合いを深め、変化する町民ニーズや地域課題の解決、さらには町全体の力の底上げを図る必要がある。併せて、公共施設の今後のあり方については、人づくり、地域づくりに資する拠点としての視点からの検討も不可欠である。そのためには、今後、従来の施策の縦割りの弊害を解消し、部局横断的に、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。

	外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]
	1:国が示す政策5原則(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)に基づく 基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	2:基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、 一部、施策を改善する必要がある
	3:基本目標の達成状況を検証する 数値目標を見直す必要がある
意見等	

	町の最終方針 [庁内評価委員会]
方向性	

総合戦略政策評価シート (平成28年度実績)

基本目標	二宮の強みを活かした魅力あるくらしを提案し、新しい人の流れをつくる
基本的方向	二宮町人口ビジョンを実現するためには町外への転出を抑制するとともに、子育て家庭を中心とした転入を促進する等、今までとは違う新たな「人の流れ」を創出することが求められます。 より多くの人々に「住んで良かった」と実感してもらうため、子育て家庭をはじめ、町内外問わず幅広い人々に対し、町の良さを活かした新しい暮らし方を提案・発信するとともに、定住希望者の希望を叶える環境をつくることを、二宮町総合戦略の第2の基本目標とします。 そのため、町の自然・教育・文化・観光等を活かした特色ある取り組みを推進し、効果的なプロモーションを行います。 定住促進のためには定住希望者のニーズに対応する住宅供給が求められます。そのため、空き家等の既存ストックを有効活用した定住支援を行います。

指標名	実績の推移					目標値	備考
14 保石	計画策定時	H28	H29	H30	H31	日保旭	1 押 7 5
二宮町の人口	28, 479人	28, 271人				27, 168人以上	
二宮町の社会移動数	転出超過 213人	転出超過 43人				転出超過 58人以下	

	7	1:国が示す政策5原則(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
		2:基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
総合		3:基本目標の達成状況を検証する 数値目標を見直す必要がある
1評価	説明	基本目標「二宮の強みを活かした魅力あるくらしを提案し、新しい人の流れをつくる」を達成するために設定した3つの施策は、概ね順調に進行している。この町で新たな「人の流れ」を創出するためには、若者や地域外の第三者等、新たな視点や感性を積極的に取り込むとともに、地域の良さを理解し、愛着を持った次世代の地域づくりの担い手となる人材を育成する必要がある。併せて、町で取り組んでいる各種移住・定住支援メニューをニーズに合わせて見直し、利用を促進することで、移住・定住人口そのものの増加に繋げるとともに、移住・定住者が新たな移住・定住者を呼ぶ好循環を作り出すことも不可欠である。そのためには、今後、施策の効果的・効率的な展開に向け、官民連携をより一層深め、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。

	外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]					
	1:国が示す政策5原則(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)に基づく 基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する					
	2:基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、 一部、施策を改善する必要がある					
	3:基本目標の達成状況を検証する 数値目標を見直す必要がある					
意見等						

	町の最終方針 [庁内評価委員会]
方向性	

総合戦略政策評価シート(平成28年度実績)

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
基本的方向	町では、これまで妊娠期、出産期、育児期における切れ目ない支援の充実・強化に向けた様々な取り組みを進めてきました。しかしながら、子育て家庭が抱える様々なニーズに対応するためには、行政サービスだけでは限界があります。父親の育児参加しやすい環境づくりや民間サービスの導入促進、地域ぐるみでの見守り・支え合い等を含め、様々な主体の連携・協力のもとで子育て家庭が安心して妊娠・出産・子育てできる環境を実現することを二宮町総合戦略の第3の目標とします。 そのため、まずは子ども・子育てサービスに関する情報発信の強化や民間サービスを含めたサービスの更なる質の向上を目指すとともに、「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域づくりを活かした、地域ぐるみでの見守り・支えあいの環境づくりを進めます。 また、子育て家庭が子育てしやすい環境を整えるため、子どもが安全に遊べる環境づくり、子育て家族が安心して外出できる環境づくりを行います。 さらに、子育てと仕事の両立を目指し、長時間労働の改善といった男性の働き方の見直し等を啓発し、子育て中の親が仕事と生活の調和を図ることができ、かつ、多様な働き方ができる環境づくりを行います。

指標名	実績の推移					目標値	備考
11保力	計画策定時	H28	H29	H30	H31	日保旭	湘石
安心して結婚・出産・子育てできる 社会になっていると思う人の割合	32. 0%	41. 9%				40. 0%	
合計特殊出生率	1. 19	-				1.4以上	

総	7	1:国が示す政策5原則(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)に基づく 基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
		2:基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
		3:基本目標の達成状況を検証する 数値目標を見直す必要がある
合評価	説明	基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる」を達成するために設定した2つの施策は、順調に進行している。若い世代が結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境を実現するためには、子どもや各家庭の状況とニーズに寄り添った行政サービスの充実に加え、町民相互の子育て支援活動やネットワークの強化を図り、地域の子育て支援力の強化を図る必要がある。併せて、子育て支援に対する理解と関心を高め、地域全体で子どもや子育て家庭を見守り、応援する機運の醸成も不可欠である。そのためには、今後、行政をはじめ、町民、地域団体等、地域における多様な主体の連携、協力を促進しながら、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。

	外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]					
	1:国が示す政策 5 原則(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)に基づく 基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する					
	2:基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、 一部、施策を改善する必要がある					
	3 : 基本目標の達成状況を検証する 数値目標を見直す必要がある					
意見等						

	町の最終方針 [庁内評価委員会]
方向性	

総合戦略政策評価シート(平成28年度実績)

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
上 基本的方向	町が将来にわたって地域の活力を維持し、持続可能なまちづくりを展開するためには、町内に新たな産業と雇用を生み出し、ヒト・モノ・カネを循環させることによって、町内経済を好転させ、人々が安心して生活を営むことができるまちをつくることが求められています。 二宮町人口ビジョンを実現するために、きめ細やかな対応によって身近な地域で働きたい人々の希望を叶える起業・雇用環境をつくることで、「誰もが生涯現役」となれる環境をつくることを第4の基本目標とします。 ベッドタウンである本町にとっては、日常生活に必要な小売業や医療・福祉サービスといった生活に密着した産業の集積が大きな課題です。そのため、既存産業に対する就業支援等を行うとともに、町の資源を活用した新たな産業の可能性についての検討や空き家・空き店舗と創業希望者とのマッチング支援等、新たな取り組み、起業・就業機会の拡大を促進します。

指標名	実績の推移				目標値	備考	
14 保石	計画策定時	H28	H29	H30	H31	日保旭	湘石
二宮町民の就業者割合	54. 3%	-				56. 5%	

A D		1:国が示す政策5原則(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	>	2:基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、 一部、施策を改善する必要がある
		3 : 基本目標の達成状況を検証する 数値目標を見直す必要がある
総合評価	説明	基本目標「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」を達成するために設定した3本の施策のうち、2つは概ね順調に進行しているが、1つは見直しが必要である。 安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくるためには、事業者に対し、総合的な支援策を継続するとともに、地域資源を活かし、新たな事業機会を生み出しやすい環境を整備することにより、地域経済全体の持続的な発展を図ることが必要である。併せて、働く意欲のある人の就業や起業を支援することにより、誰もが自分の知識や経験を活かしながら、社会の担い手として活躍できる環境整備も不可欠である。そのためには、今後、官民連携の一層の強化等、より実効性のある支援とするための見直しを行うとともに、地域特性や地域資源等と地域のニーズとのマッチングを推進することで、この町のポテンシャルを最大限引き出し、それを活用しながら、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。

	外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]			
	1:国が示す政策 5 原則(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)に基づく 基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する			
	2:基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、 一部、施策を改善する必要がある			
	3:基本目標の達成状況を検証する 数値目標を見直す必要がある			
意見等				

	町の最終方針 [庁内評価委員会]
方向性	